「新総合防災情報システム（SOBO-WEB）アイデアソン 2025」
募集要項

内閣府防災（防災デジタル・物資支援担当）

内閣府では、災害対応各機関で災害情報を迅速に集約、共有する「防災デジタルプラットフォーム」の実現に向けて、その中核を担う新総合防災情報システム（SOBO-WEB）の運用を令和 6 年 4 月より開始しています。本システムでは、各機関から収集・集約した情報を地図上で重ね合わせて表示することができます。

本システムの利活用を促進し、関係者が一体となった、迅速かつ効果的な人命救助、被災者支援、インフラ復旧等を実現するため、EEI の情報や新たに取り込むことで利活用が見込める情報を含め、「データをどのように掛け合わせれば」、各機関の災害対応に役立つのか、システムを効果的に利活用していくためのアイデアを募集します。（昨年に引き続き 2 回目の募集となります。）

内閣府では、更なる情報連携の充実や機能拡張に取り組みますが、既に多様なデータが連携済みとなっていますので、実際に操作しながらアイデアを膨らませていただければと思います。また、今後、防災分野でも重要な役割を果たすことが見込まれる AI や予測技術といった先端技術の活用を盛り込んだアイデアのご提案は、特に大歓迎です。

ご提案いただいたアイデアのうち、活用可能なものは、SOBO-WEB のマニュアル等に組み込んだ上で、実践的に使っていただける形で横展開し、関係機関の皆さまに使ってもらう事を予定しております。

日本全国で災害が頻発・激甚化する中、一人でも多くの方の助けになるようなご提案を心よりお待ちしております。

記

1．募集期間

令和 7 年 7 月 25 日（金）まで

2．募集テーマ

「データを掛け合わせる（重ね合わせる）ことによる新たな効果的活用方法」

SOBO-WEB において既に収集・集約しているデータや今後取り込む EEI のデータの掛け合わせだけでなく、新たに取り込むことで利活用が見込めるデータに関するご提案、SOBO-WEB とのシステム連携により各機関が保有するシステム上で行う分析に関するご提案についても幅広く募集します。

また、AI や予測技術といった先端技術の活用を盛り込んだご提案は特に大歓迎です。

アイデアをご検討いただく際に必要となる、SOBO-WEB が現在取り扱っているデータの一覧は、別添をご参照下さい。

アイデアの例につきましては、本要項の末尾に掲載をしておりますのでご参照ください。昨年度のアイデアソン 2024 の様子につきましては以下内閣府ホームページからも確認が可能です。

https://www.bousai.go.jp/kyoiku/ideathon/index.html

なお、SOBO-WEB の参加者は、「総合防災情報システム利用規約」（令和 6 年 4 月 26 日内閣府防災）第 5 条に基づき、国の府省庁、地方公共団体及び指定公共機関となっているため、今回の募集に際して、上記以外の方に SOBO-WEB のアカウントを発行することはいたしかねます。ご理解賜りますようお願い申し上げます。

3．対象者

どなたでもご応募可能です（応募制限なし）

※昨年は上記の SOBO-WEB の参加者に応募を限定していましたが、今回はそれ以外の方からもアイデアを広く募集します。大学や高専の学生、民間企業、一般の方も含めて、特に応募制限はございません。

※応募の単位は問いません。個人、部・課・室等の組織、学校、有志チーム、他機関や委託先事業者との連携チーム等でも構いません。

4．応募方法

〇内容

【2.募集テーマ】に合致するアイデアをご応募ください。

〇ファイル形式

応募資料については、以下の点にご留意ください。

①ファイルは Word, Excel, PowerPoint のいずれかで作成し、PDF 化した上で送付をお願いします。

②ページ数は任意ですが、必ずご提案の内容を１枚にまとめた概要紙（原則 PowerPoint 形式）を添付してください。

③概要１枚紙には、アイデアのタイトル、応募者の氏名（又はチーム名）を必ずご記載ください。

④ファイル名と作品名は、同一にしてください。

〇送付先

【９.連絡先】まで、メールにて送付をお願いします。

事務局にて受領後、送付アドレス宛に、受領確認メールをお送りします。しばらく経っても受領確認メールが届かない場合、お手数ですが、連絡先までお問合せください。その他、ご不明点等についても、連絡先までお気軽にお問い合わせ下さい。

５．選考プロセス

〇選考の流れ

ご応募いただいたアイデアについては、事務局において、本募集要項に沿ったものとなっているか、【８.その他留意点】に反していないか等を確認した上で、【６.選考のポイント】に基づき、１次選考（書類選考）を行います。

１次選考において上位６チーム程度を選出し、１次選考通過者には、最終選考として、「ぼうさいこくたい 2025 in 新潟」内のセッションにてご発表いただき、審査員（有識者等）による審査を経て、優秀者に防災担当大臣賞等を授賞します。

〇スケジュール

① 応募受付：令和７年７月 25 日（金）まで

② １次選考（書類選考）：７月末頃

③ １次選考結果通知（通過者のみ）：８月上旬

④ 最終選考：９月７日（日）10：30～12:00

会場：「ぼうさいこくたい 2025 in 新潟」内のセッション

（朱鷺メッセ　新潟コンベンションセンター　中会議室 201A）

当日は各チーム５分程度でプレゼンをしていただきます。

5　受賞者決定・表彰式：最終選考のセッション内にて併せて実施

6．選考のポイント

1次選考（書類選考）は下記のポイントに沿って実施します。なお、府省庁・地方公共団体・指定公共機関など、どの視点からご提案いただいても構いません。応募者の視点が選考に影響することはありません。

①有効性

・アイデアがもたらす効果やインパクトはあるか

・災害対応の効率化や迅速化にどの程度寄与するか

②創造性・独創性

・アイデアに創造性や独創性はあるか

・既存の方法にとらわれない、新しい視点やアプローチはあるか

③持続性・発展性

・提案されたアイデアが長期的に持続可能であるか

・他の利用者への展開や他の災害対応の場面への応用が期待されるか

④実現可能性

・提案されたアイデアが現実的に実行可能であるか

・コストやリソースの観点から、実現性があるか

7．表彰

最終選考における優秀者には、防災担当大臣賞（最優秀賞、優秀賞等）の授賞を予定しています。

8．その他留意点

〇応募作品の著作権等について

・応募作品に関する著作権（著作権法（昭和45年法律第48号）第27条及び第28条に規定する権利その他の権利を含む。）は、応募者に帰属します。一方、応募作品に関する特許権、実用新案権、意匠権、商標権等の知的財産権（それらの権利を取得し、又はそれらの権利につき登録等を出願する権利も含むものとする。）その他一切の権利を放棄する事に同意いただきます。

・情報の法的保護については、応募者の責任において対策を講じた上で、一

般に公表しても差し支えない範囲で応募をお願いします。

・内閣府が、本アイデアソンの開催目的達成のために応募作品や当日の発表状況等を撮影した写真等を内閣府ホームページ等で公表する事に同意いただきます。

〇アイデアについて

・本アイデアソンにおいて参加者が提供したアイデア（コンセプト、ノウハウ等を含む。）はパブリックドメインとして、他の参加者を含めた第三者が、無償で自由に利用することに同意いただきます。

〇次の事項に該当する、又はその恐れがある応募作品は失格とさせていただく場合がございます。

①法令等に違反するもの
②公序良俗に反するもの
③公共の福祉に反するもの
④企業名や特定の商品などの広告宣伝を目的とするもの
⑤政治活動又は宗教活動に関するもの
⑥個人、企業、団体等を中傷したりプライバシーを侵害したりするもの
⑦不適切な内容・表現又は不快感を与える内容・表現が含まれているもの
⑧その他本アイデアソンの趣旨から、内閣府が不適当と認めるもの

9．連絡先

内閣府政策統括官（防災担当）付参事官（防災デジタル・物資支援担当）付
本件責任者： 大江　／　窓口： 石塚、吉森
TEL：03-3503-2231（直通）

＜提案アイデアのイメージ＞

（例）

避難所への物資輸送に際し、避難所情報、物資拠点情報、道路通行情報を重ね合わせることで、物資拠点から当該避難所までの最適な輸送ルートの判断を一挙に行えるようにする。

＜昨年度のアイデアソン 2024 における授賞例＞

※画像はイメージです

防災担当大臣賞　最優秀賞（１件）

３ 社合同チーム（東京ガスネットワーク株式会社、東京電力パワーグリッド株式会社、東日本電信電話株式会社）

官民の連携による復旧活動の早期化

３社共同災害対策室でまとめたインフラ３社の被災状況と、通行規制、建物倒壊地域、避難所状況等を重ね合わせることで、行政機関等が避難所のオペレーションや道路啓開の優先順位づけの検討に活用

防災担当大臣賞　優秀賞（３件）

東日本高速道路株式会社 新潟支社 道路事業部

高速道路の災害時リスクコミュニケーションの最適化

高速道路の通行止め見込みや解除までの作業状況と、
一般道の渋滞予測や気象予測等の多角的な情報を重ね合わせ、
ドライバーの出控え・迂回の意思決定を支援するとともに、
発災時には、トイレ・給油・救援物資等の支援情報をタイムリーに提供

一般社団法人 AZ-COM 丸和・支援ネットワーク　チーム桃太郎

拠点位置関係と被害の可視化による拠点選定や輸送手配の効率化

災害時の物資支援拠点の候補地の位置関係や基本情報・
スペックの可視化とともに、それらと被害推計・被害状況を
重ね合わせることで、拠点選定等を効率化

・東北電力株式会社 研究開発センター
・通研電気工業株式会社 ソリューション推進事業部 ソリューション技術 G
・IQGeo Japan 株式会社
・株式会社データインサイト

非居住者の被災情報を可視化し適切な支援を実現

観光客、帰省者等の非居住者の位置情報をスマートフォンの
アプリ等から把握するとともに、それらの属性情報を重ね合わせる
ことで、被災者の性別、言語、宗教等に応じたきめ細かな支援を実現

以　上